

令和5年度

# 赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年2月19日(月)

校長 高橋 励

Dear Student(\*^\_^\*)

気づけば2月もあと10日!

少しご無沙汰をしてしまいました。

節分と恵方巻の話題に触れそね

ているうちに、雪やインフルエンザに

よる2年生の学年閉鎖。その間に、1年生

は後期期末テストが終わり、3年生は

神奈川公立高等学校の

学力が終わりました。志願者全

員無事に受験を終えることがで

きました(当日が雪にならなくて

よかったです!)

さて、2年生は今日から3日間の期末テストで

すね。体調を整えて臨んでいますか。毎日の生

活のなかでは予定とは違うことがいろいろ起こり

ますが、その課題にどのように自分の状態を調

整して向き合えるかを考えて実行できることも、

これから必要になる力だといわれています。しっ

かり体調を管理して残り2日に臨んでください。

そして、3年生諸君。卒業まで残りひと月を切

りました。あなたが今向き合っている自分の進路

決定は、世の中にはばたいていくための準備の

時間です。人は、些細なことから重大なことまで、

自分が考え、選択し、挑み、成し遂げようとする、

ということを繰り返しながら毎日を過ごしていま

す。人の意見や考えに耳を傾けることや自分で

情報を集めること、自分の経験をもとに考えるこ

と、それぞれがよりよい判断をするために必要な

力です。進路決定に向けた取り組みから、あな

たは何を学べたでしょうか。今すぐに、ではなくて

いいので、4月に新しいスタートを切るまでの間

に振り返りをしておきましょうね。



ところで、今週末には「ふれあい講座・

中学生と大人の集い」が予定されています。!

年生ははじめての参加になりますね。この催しを

通して、この学区で育つあなたが、とても多くの

大人のみなさんに愛され、支えられていること

を感じてもらえればいいなあ、と思っています。

当日、講師として来校いただくみなさんは、そ

れぞれにお仕事や活動をされています。そん

な方々がご自身の時間を提供して下さるおかげ

で、たくさんの講座を開くことができるのです。

へんに畏まる必要はないですが、敬意と感謝を

持って参加してくださいね。有意義な時間になれ

ばうれしいです。

～保護者の皆様へ～

学校給食公式Instagram

「MOGUMOGU\_CHIGASAKI」開設!

「茅ヶ崎市が行う学校給食(小学校給食・

中学校給食)の取組みを紹介することで、学校

給食の理解促進や役割等を広く理解してもらう」

ことを目的とした公式Instagramが2月2日に

開設されたそうです。先日、中学校給食で使用

するランチボックスの色を決める生徒アンケート

もありましたが(ちなみに色は「朱色」に決まった

そうです)、中学校給食実施

に向けて少しずつ進んでいる

ようで、今後も様々な情報が提

供されるようです。アカウント

は、



@MOGUMOGU\_CHIGASAKI

興味を持っていただけた方はぜひアクセスを!

ほごしゃ みなさま  
～保護者の皆様へ～

## ごらいこう 御来校ありがとうございました

じゅぎょうさんかん がくねんこんだんかい  
授業参観・学年懇談会

ずいぶん前の話になりましたが、授業参観・  
懇談会へのご参加ありがとうございました。学年  
から今後の予定や日常の様子などをお話させ  
ていただき、私からも、次のようなお願いお話を  
させていただきました。

がっこうせいかつぜんたい あかほね さと  
学校生活全体のように、「赤羽根の里だより」や  
学年・学級だより等でお伝えしていますが、個々のお  
子さんの日常の様子は、担任、学年、教科、部活動、  
保健室、相談室などからご家庭に直接連絡するよう  
にしています。

にちじょう なか こ つた  
日常の中で、お子さんのつばやきやウワサなどで伝  
わる学校のように、その信憑性も含めてご心配に  
なることがあると思います。学校評価アンケートでそん  
な不安を伝えていただいたので、2つ、お願いできれば  
と思います。

き みみ とど  
1つは、気にかかることが耳に届いたときには、ぜひ  
学校にお問い合わせいただきたい、ということ。

がっこう き  
学校で気づけていないことがあるかもしれませんし、  
子どもたちを見守るための新たな視点を知らせていただ  
く機会でもあります。また、電話で学校でのよう  
すを確かめていただくことで心配が安心に変わること  
もあるかと思っています。ぜひ一報をお願いします。

にちじょう できごと がっこう かてい れんらく  
もう1つは、日常の出来事を学校からご家庭に連絡  
することは、子どもの成長を共に見守るための「前向  
きなもの」として受け止めていただきたい、ということ。

ねんせいひとり がつ おこな めんせつ とお  
3年生一人ひとりと11月から行ってきた面接を通  
して、子どもたちが日々起こる様々な出来事(うれしか  
ったことだけではなくつらかったことや大変だったこと  
も含めて)を、経験という自分の力に変えながら成長  
してきているということを改めて実感しました。その  
成長を見守るのは大人の務め。中学校卒業まで  
の間、どう支えていけるか、共に考えさせていた  
だくためにもご協力をお願いいたします。

Dear Student(\*^\_^\*)

## とりく はじ こんな取組み、始まっています!

せいとかいほっこう しんぶん がついつち  
生徒会発行の「フェニックス新聞(2月1日  
号)」にも掲載されていましたが、生徒会本部  
役員が新たな活動を始めています。“非現実的  
な内容の意見を書く

のはやめてください  
”と書かれていまし  
たが、確かにこのよ  
うな取組みはフォロ  
ワーのセンスがカギ  
となりそうですね。

この箱はあなた  
の声を拾おうとする  
生徒会本部役員の想いです。一緒に大事に育て  
てほしいと思っています。



## こんなエピソード、知ってましたか?

「PINK SHIRT DAY 2024 in 神奈川」  
チラシ(校長室前に掲示中)より引用

“物語の始まりはカナダ。男子生徒がピンク  
のシャツをからかわれ、いじめにあいました。そ  
れを知った二人の上級生が「ぼくらもピンクの  
シャツを着ていじめストップを!」と提案しました。  
翌朝のこと。賛同した生徒たちがピンクのシャツ  
や小物を身につけて登校し、校舎はピンク色に。  
いじめストップにつながったそうです。以降、2月  
最終水曜日をピンクシャツデーとし、世界180  
か国以上のワールドアクションとなっています。  
物語の続きは神奈川で。ストーリーにあなたの  
アクションを加えてください。”

願えば全てがうまくいくとは限りません。でも、  
だれかの想いや提案をきっかけにアクションは始  
まるものだといえそうです。きっかけを作るのはあ  
なたかもしれませんね。よい提案につなげてくだ  
さい。

